



街
井上 舜太(福岡県)



the cubicle“Y軍曹の部屋”
石橋 勝久(愛知県)



60rpm
聖(大分県)



Are We Repeating That Again?
岡本 瑛里(千葉県)



小松美羽賞
星の観察
歌(uta)(茨城県)



浅井裕介賞
やさしい象
三田 圭介(東京都)



鈴木康広賞
とじるはひらく
ひらくはむすぶ
笹本 明日香(東京都)

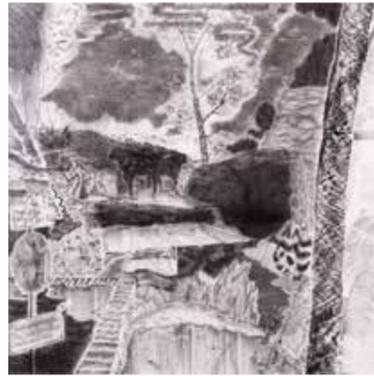


東村アキコ賞
光のあるところ
豊田 昇子(東京都)



協賛特別賞
初夏の響き
狩野 直子(岩手県)

佳作



宮本三郎記念賞

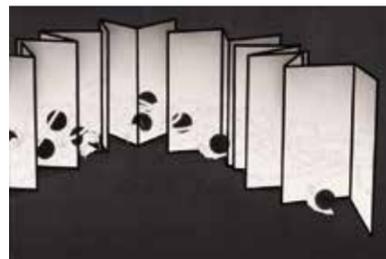
看板の先には牛がいる。
上田 健太(東京都)

特別展合同

学芸員による
ギャラリートーク
10月11日(土)

本陣記念美術館 10時から
宮本三郎美術館 11時から

優秀賞



島流
林 銘君(東京都)



80億の人類が黙ってはいない
羽藤 明夫(愛媛県)

市ではデッサンをテーマにした「宮本三郎記念デッサン大賞展」を隔年で開催しています。令和の時代を描き出す今回の受賞作品を紹介します。

問い合わせ 宮本三郎美術館 ☎20・3600

宮本三郎は、油彩画のみならずデッサンにおいても高く評価されています。市では、全国でも例のないデッサン・ドローイング・素描を対象としたコンクール「宮本三郎記念デッサン大賞展-明日の表現を拓く-」を2011年から開催しています。サブタイトル「明日の表現を拓く」には、個々の作家の表現の根底に広がる多様なイメージが、今日的な表現の地平を広げていくことへの期待が込められています。

Komatsu Biennale 2025 第8回 宮本三郎 記念デッサン大賞展

—明日の表現を拓く—



大賞 面影
岡本 実佳枝(広島県)

今回は、442名から584点の作品応募があり、7月に審査会が行われました。5人の審査員による厳正な審査の結果、受賞13作品、入選46作品が決定しました。

この展示の見どころは、鑑賞する人が様々なデッサン・ドローイング・素描に出会えること、ダイレクトなイメージを受け取り、それを間近で体感できることです。作品について話したり、自分にぴったりくる1枚を探したりしてみませんか。

2025ビエンナーレいしかわ 秋の芸術祭協賛事業

小松展

会期 9月20日(土)~11月3日(月・祝)
ところ 宮本三郎美術館

東京巡回展

会期 11月15日(土)~11月23日(日・祝)
ところ 世田谷美術館 区民ギャラリーA・B

同時開催 特別展「小松の至宝」
詳しくはP17へ

線に宿る情熱 宮本三郎と 描く未来

特集